

平成 25 年度第 2 回コンクリート常任委員会議事録（案）

日 時：2013 年 7 月 8 日（月）14:00～16:55

場 所：愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）1102 会議室

出席者：二羽委員長，岩波幹事長，宇治、河合、河野、岸、佐藤、島、添田、武若、田中、谷村、土谷、津吉、名倉、信田、橋本、前川、松尾（松村委員の代理）、丸山、宮川、森、横田の各常任委員，石田、濱田、久田（記録），丸屋（司会）の各常任委員兼幹事，二瓶（事務局）（敬称略）

配付資料：

- 2-0 平成 25 年度 第 2 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 2-1 平成 25 年度 第 1 回コンクリート常任委員会 議事録（案）
- 2-2 2013 年制定 コンクリート標準示方書〔維持管理編〕意見照会結果・対応
- 2-3 2012 年制定 コンクリート標準示方書〔ダムコンクリート編〕改訂（案）の概要
- 2-4 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会報告書（目次）
- 2-5 コンクリート委員会 委員構成
- 2-6 示方書連絡調整小委員会 委員構成
- 2-7 コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会
- 2-8 土木学会 100 周年記念出版編集小委員会（226 小委員会）委員構成
- 2-9 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会（221）委員構成
- 2-10 非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会 委員構成（案）
- 2-11 がれきの処分と有効利用に関する調査研究小委員会（223）委員構成
- 2-12 示方書〔設計編〕に基づく「数値解析の認証」（案）
- 2-13 平成 25 年度土木学会全国大会研究討論会（コンクリート委員会担当分）
- 2-14 繊維補強コンクリートの構造利用研究（346）小委員会 委員構成
- 2-15 今年度のジョイントセミナーについて
- 2-16 2012-2013 示方書講習会・支部開催状況
- 2-17 「土木構造物のライフサイクルマネジメント～方法論と実例，ガイドライン～」発刊に伴う講習会
- 2-18 第 57 回日本学術会議材料工学連合講演会講演募集
- 2-19 教育研究小委員会の活動内容について
- 2-20 IALCCE 2014 開催概要

議 事：

1. 委員長挨拶

二羽委員長より，笹子トンネル天井板落下の最終報告書が先月提出されたが，その中で維持管理の重要性が改めて指摘されている．本日の議題には維持管理編の審議が予定されており，積極的な議論をお願いしたいとの挨拶があった．

2. 平成 25 年度第 1 回コンクリート常任委員会議事録の確認【資料 2-1】

丸屋幹事より，資料を用いて平成 25 年度第 1 回コンクリート常任委員会議事録（案）が報告され，異議なく承認された．

3. 審議事項

(1) 示方書維持管理編の審議【資料 2-2】

横田委員（維持管理編部会主査）より，パワーポイントおよび資料に基づいて，維持管理編の改訂の概要および意見照会結果とその対応の概要についての説明がなされた．質疑応答は以下の通りである．[Q:質問，A:回答，C:コメント]

Q:機能向上についての議論はどの程度されたのか（河野）

C:医療などでは，機能を function ではなく performance として訳すこともある（河野）

C：他編でも使用しているのであれば、整合性を取って欲しい（岩波）

A：考え方については運営部会に一任したい（横田）

Q：観察維持管理の考え方について、改訂案では簡素化されているが、誤解を避けるという目的で、やはり明確に記載しておく必要があるのでは？（武若）

A：事後維持管理などと並列しているわけではないが、この内容で問題ないと判断している（横田）

Q：観察維持管理で目視観察をしないとすると、手抜きと読まれかねないか（谷村）

A：誤解のないように、記述を精査する（横田）

●以上の審議を経て、出版を承認した。

(2) 示方書ダムコンクリート編の審議【資料2-3】

宇治委員（ダムコンクリート編部会主査）より、パワーポイントを用いてダムコンクリート編の概要の説明がなされた。質疑応答は以下の通りである。[Q：質問，A：回答，C：コメント]

C：（補足）前回指摘のあった温度ひび割れについて検討した結果も反映している（宇治）

Q：前回の指摘事項について検討した部分は反映されているのか（二羽）

A：反映している（宇治）

Q：「不変的」という用語の使い方はこれで良いか（宮川）

A：これで良いと認識している（宇治）

●以上の審議を経て、出版を承認した。

(3) 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究小委員会報告書の審議【資料2-4】

丸山委員（同委員会委員長）より、資料およびパワーポイントを用いて委員会報告書の概要の説明がなされた。質疑応答は以下の通りである。[Q：質問，A：回答，C：コメント]

Q：波力に抗する具体的なモデルは提案しているのか（二羽）

A：幸左教授（九工大）のモデルが主であり、こうすれば良いといったレベルまでは到達していないが、現在、解析検討を進めており、考え方については整理できると思う（丸山）

Q：委員会活動は終わるが今後、継続する計画はあるのか（二羽）

A：委員長を継続するかは未定であるが、委員会は継続する方向で検討を続けたい（丸山）

Q：復興道路などに適用できるような設計指針程度のレベルに到達しているのか（河野）

A：完成度は80%程度であるが、まだ検討の余地があると認識している（丸山）

C：具体的な成果が出れば、道路橋示方書等に反映できる（河野）

A：想定津波の設定方法など、残された課題はある。規準化は慎重にすべきと考えている（丸山）

●報告書案を資料中に記載しているURLに掲載している。コメント等については、7月末を目途にお願いしたい（書式自由で、二瓶さん宛に提出）。それを受けて、9月のコンクリート委員会でライブラリーとしての出版の承認をお願いしようと考えている。講習会は11月頃に開催する予定である。

(4) 第1種、第2種委員会の委員構成

以下の各資料を用いて下記委員会の委員構成、委員の交代ならびに追加が報告され、承認された。

1) コンクリート委員会 委員追加【資料2-5】

二羽委員長より説明がなされ、記載の通り承認された。

2) 示方書連絡調整小委員会 委員構成【資料2-6】

佐藤委員（同委員会委員長）より説明がなされ、記載の通り承認された。活動内容は、現状の示方書の技術的な課題の整理と将来のあるべき姿の検討、国内外の動向調査、設計・施工・維持管理との連携など。

3) コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会 委員構成【資料2-7】

同委員会委員長の鎌田委員が欠席のため、代理で岩波幹事長より説明がなされ、記載の通り承認された。説明について以下の意見と要望が出され、下記の通り対応することとなった。

- ・前川委員から、首都高など、都市内高速の管理者にも加わって頂くことも考慮して欲しい旨の要望が出され、これに対応することとした。
- ・宮川委員の質問に対して、管状構造物は、現段階では直接的には対象としていないこと、また、リスクマネジメントは、検討の対象とすることを確認した。

4) 土木学会100周年記念出版編集小委員会 委員構成【資料2-8】

丸屋幹事より説明がなされ、記載の通り承認された。これに併せて、常任委員会委員各位に対して、内容

についての意見照会と原稿執筆の協力依頼（英文チェックも含む）がなされた。説明について以下の意見と要望が出され、下記の通り対応することとなった。

- ・河野委員の意見に対して、最先端の研究も重視するとともに、我が国で一般的に行われている独自の技術についても記載する予定であることを確認した。本意見を反映し、目次案を再検討する。
- ・宇治委員から、事例の画像なども盛り込んでどうか、との要望が出された。
- ・前川委員から、機能向上のような、海外ではあまりない事例も盛り込んで頂きたい、との要望が出された。
- ・河野委員から、我が国の現場の整理整頓がすばらしいこと、なども含められないか、とのコメント(要請)があった。
- ・宮川委員から、他の委員会で予定されている出版物の内容も視野に入れて作業を進めて欲しい、との要望が出された。

5) 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究小委員会 協力委員追加【資料2-9】
丸山委員より説明がなされ、記載の通り承認された。

6) 非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会 委員構成【資料2-10】

宇治委員より説明がなされ、記載の通り承認された。主な活動は指針の改訂と最新情報の取込みである。説明について以下の質問が出され、下記の通り対応することとなった。

- ・下村幹事より、幹事の設置について質問がなされ、当面は資料の通りの構成で進めるが、今後検討が進んで幹事が必要になった段階で委員構成の再検討を行うことを確認した。

7) がれきの処分と有効利用に関する調査研究小委員会 委員交代【資料2-11】

久田幹事より説明がなされ、記載の通り承認された。

(5) 第2種委員会の設置【資料2-12】

下村幹事より、示方書に基づく数値解析認証小委員会（仮称）について、前回までの意見を反映して修正した概要の説明がなされ、委員会の設置が承認された。次回、委員構成を提出する。

(6) その他

- ・丸山委員より、前回示方書改訂時に舗装工学委員会に移管した舗装コンクリートの示方書について改訂がなされていないようなので、対応して欲しい旨の要望が山本泰彦旧委員からあったことが報告された。対応について幹事団で検討することとした。

4. 報告事項

(1) 平成25年度土木学会全国大会における研究討論会【資料2-13】

下村幹事より、資料について報告がなされ、参加要請がなされた。木村氏の所属は「CAESAR」。

(2) 第3種委員会の委員構成【資料2-14】

丸屋幹事より、繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会(346)委員追加および所属変更について報告がなされた。

(3) ベトナムでのジョイントセミナー【資料2-15】

石田幹事より、資料について報告がなされた。施工編に関する講演依頼者は谷口秀明氏（三井住友建設）で内諾済み。

(4) 報告会・講習会開催予定

1) 示方書講習会地方開催分【資料2-16】

岩波幹事長から、資料について報告がなされた。規準編が11月13日（木）に本部主催で開催予定であることが併せて報告された。

2) 構造工学委員会「土木構造物のライフサイクルマネジメント」講習会【資料2-17】

久田幹事より、資料について報告がなされ、参加要請がなされた。

3) 材料工学連合講演会【資料2-18】

丸屋幹事より、資料について報告がなされ、投稿、参加要請がなされた。

(5) その他

1) 教育研究小委員会の活動予定【資料2-19】

岩波幹事長より、資料について報告がなされた。

2) 国際関連小委員会のNewsletterでの示方書紹介について【資料なし】

佐藤委員より、国際関連小委員会で発行している Newsletter での示方書紹介について、10月号から順次掲載していく予定であることが報告された。各号10ページ程度を予定している。

3) IALCCE call for paper【資料2-20】

岩波幹事長より、資料について報告がなされ、投稿受付時期が延長（2013/9/1まで）されていることが紹介された。

5. 次回開催日の確認

第3回コンクリート常任委員会・第1回コンクリート委員会は下記の日時、場所で開催することを確認した。なお、同日に第3種委員会連絡会議を開催する。議題については8月22日（木）までに幹事へ提出いただく。

日 時：2013年9月3日（火）14時～17時

場 所：土木学会講堂（予定）

以 上